

第107回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和4年1月25日（火） 9：35～11：00	場所	WEB
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、高橋庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、梅原企画政策課長、石原健康課長、堤新型コロナウイルス感染症対策担当課長、深澤ごみ対策課長、宮奈地域安全課長、穂山地域安全係長			
付議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナワクチン接種について 2 まん延防止等重点措置について 3 陽性者・濃厚接触者について 4 各部連絡事項 			
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・市長メッセージ ・新型コロナウイルスワクチン接種における追加接種「前倒し」等への対応について ・新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置 ・「BCP（事業継続計画）の再点検」について ・濃厚接触者の待期間について ・新型コロナウイルス感染症の感染急拡大が確認された場合の対応について ・新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえた対応について ・新型コロナウイルス感染症患者急増に伴う対応について（協力依頼） ・生活必需品の買物を代行します ・小金井市内介護事業所における新型コロナウイルス感染について（全3枚） 			
<p>（進行：福祉保健部長）</p> <p>（市長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まん延防止等重点措置が、1月21日～2月13日の期間で発令された。コロナの感染状況は都のモニタリング会議によると、最も高いレベル4となっている。 ・小金井市内の感染状況は、昨日1月24日の新規感染者が72名、累計2,642名となっている。現在の自宅療養者は377名であり、第5波を超える感染状況にある。都内の自宅療養者も3万人を超える状況にあり、フォローアップの重要性が増している。 ・本市においては、医師会、薬剤師会、訪問看護師会と連携をとり、3回目のワクチン接種をしっかりとやっていくことが重要である。 ・濃厚接触者については、陽性者の同居者の場合、検査をしなくても診断できるようになった。急速に感染拡大が広がっているが、第6波を乗り越えるために市としても対策に注力する。 ・コロナのワクチンの3回目接種については、市独自で接種の前倒しを予定しており、接種計画についても見直しを図っている。また、5～11歳の小児用ワクチンについても国の承認 				

がとれ、本格的に接種が始まる。

- ・BCPをはじめとする庁内体制については、各課長が検討をしていると思うが、BCPを適用せざるを得ない状況は目の前に迫っている。応援職員の派遣など庁内の協力を求めるとともに、ワクチンチームへの応援については特段の配慮を願いたい。

(ごみ対策課長)

- ・ごみ収集の委託事業所において、2名の陽性者と4名の濃厚接触者が判明した。陽性者については2月1日まで自宅等で隔離され、濃厚接触者については4名のうち2名は検査で陰性となり本日より勤務に復帰、残りの2名は検査結果を待っている状態である。収集については、本日も時間変更はあるものの、問題なく作業ができる見込みである。なお、市民への周知はホームページやツイッター等で行っていく。

(市長)

- ・ごみの収集は市民生活に直結しているため、陽性者等が出た場合の体制づくりはしっかり対応いただきたい。

(福祉保健部長)

- ・会社で濃厚接触者の取扱いを決めているようだが、主管課において内容を確認しているか？

(ごみ対策課長)

- ・今後確認する。

1 新型コロナワクチン接種について

(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)

- ・3回目接種の「前倒し」の考え方は、別紙資料のとおりとし、2月3日予定の「全員協議会」でも報告する。
- ・3回目接種について、開始から3日間で約4,000人が接種した。
- ・5～11歳対象の接種券は2月20日に発送予定。小児の予防接種と関連し、保育園等の子育て支援施設の職員の優先接種について諮りたい。対象となる職員については、接種券発送前に予約を受け付けることも可能である。まずは保育園、幼稚園の職員を優先し、学校職員の優先順位はその後になる可能性がある。

(子ども家庭部長)

- ・子育て支援施設の優先接種をお願いしたい。ただし、オミクロン株のピーク時期を勘案いただきたいのと、5～11歳の接種についても、保護者の3回目接種と時期が重ならない配慮をお願いしたい。

(市長)

- ・優先接種についてはぜひお願いしたい。ちなみに、市外の人でも3回目接種は可能か。

(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)

- ・可能である。

(福祉保健部長)

- ・学童保育所に通う障害児等への配慮も願いたい。

(市長)

- ・ワクチンをはじめ日々情報が更新されている現状を鑑み市長メッセージを発信する予定。

2 まん延防止等重点措置について

(健康課長)

- ・1月19日付の都の資料等を提出している。各課で情報共有してほしい。

(福祉保健部長)

- ・BCPについて

都からの通知にもあるとおり、職場において1割を超える従業員の欠勤を前提としている。出勤している職員体制に応じて、市民生活に必要な業務を優先し、係内の体制だけで難しければ課内で、課内で難しければ部内でフォローし、それでも難しければ全庁的なバックアップ体制を取っていく。

(総務部長)

BCP体制について、基本的に現場の意見を考慮するが、課単位で体制がとれなければ全庁的に応援する。テレワークも視野に入れながら各課長で支援体制を検討いただきたい。

(教育長)

感染者が急増している今、改めて感染対策の重要性に注視し、①手洗い②アルコール消毒③検温を各自で徹底する。庁内に余っている体温計などがあれば各課に配り活用する。

(総務部長)

新型コロナウイルスへの対応については、都の新しい資料等が示されれば、Cナビに掲載し、各課で必ず印刷するよう周知している。なお、職員課に陽性者や濃厚接触者の報告が上がっているが、PCR検査等事後報告が多いので、庁内の濃厚接触者特定のためにも事前にお知らせいただきたい。

(市長)

教育長の発言については、庁内職員だけではなく委託事業者にも徹底をお願いしたい。可能であれば、窓口職員はマスクを1日に何回か取り換えるなどして感染リスクの低減に努めていただきたい。

(福祉保健部長)

BCPについて、どの事業も重要であるため各課長も判断が難しいと思う。最終的には、各部長、理事者にゆだねてほしい。

(生涯学習部長)

都のまん延防止等重点措置の資料を見ても、施設の取扱いには大きな変更がなかったため、市の施設は感染対策を周知徹底しながら運営を継続する。なお市のホームページにおいて周知済みである。

(企画政策課長)

- ・附属機関の会議の開催について、1月20日付けで事務連絡を发出した。附属機関の会議によって、感染がないようお願いしたい。

3 陽性者・濃厚接触者について

(健康課長)

- ・エッセンシャルワーカーの自宅待機期間については、別紙資料「新型コロナウイルス感染症の感染拡大が確認された場合の対応について」の5ページのとおりである。
- ・昨日開かれた保健所の会議によると、保健所の状況は逼迫しており、高齢者等の陽性者への連絡を優先し、濃厚接触者の特定はできていない。
- ・自宅療養者への支援物資について。1月23日(日)に100箱納品されたが、昨日までに全て配送し、今回は明日100箱納品予定である。本日支援物資の申込みがある人については、明日まで待ってもらうか、買い物支援の制度を利用するか検討する。
- ・なお、陽性者に対しては従前とおり都からも支援物資の配送がある。この状況下においても、申込みから2日程度で届く。

(総務部長)

- ・保健所の通知に基づく濃厚接触者の考え方について。職場で陽性者が出ても、基本的な感染対策を取っていれば、濃厚接触には当たらないということによろしいか。

(健康課長)

- ・同じ認識でいる。

4 各部連絡事項

(総務部長)

- ・庁内の濃厚接触者は現時点で15人程度。家族が陽性の職員がほとんどである。
- ・現在、家族感染の濃厚接触者の2名がテレワークを行っており、3台の専用端末のうち2台をテレワーク用に貸し出している。今後も同様の状況が続くのであれば、現在試行運用中の7台についても、テレワーク用に活用する。
- ・陽性職員に係るプレスリリースについて。各職場で陽性者等が増えている中、さらにプレスリリース等の事務によって業務負担が増している。今後、現在の状況から、公表基準の見直しをするべきではないか。

(学校教育部長)

- ・学校においても先週末から18名の陽性者が判明した。その他の業務も増えていることから、公表基準の見直しはお願いしたい。

(市民部長)

- ・PayPayによるポイント還元事業は1月31日が期限であるため、ぜひ積極的に活用願いたい。

(子ども家庭部長)

- ・感染状況により、保育園が6園、幼稚園が1園閉園となっており、子どもの預け先がないことから、出勤できない職員もいることをご理解願いたい。
- ・1月24日付の厚労省通知により、簡易検査の結果をもって医療機関で陽性の可否が判断できることになった。

(市長)

- ・2月3日に全員協議会が開催され、同日夜にはワクチン連絡会が行われる。小児のワクチン接種も始まるため、今後は子ども家庭部長及び学校教育部長の出席も願いたい。

(教育長)

- ・先ほども議題になった陽性職員に係る公表事務については、業務逼迫を避けるため見直しをお願いしたい。

(副市長)

- ・連日様々な通知が発出されているが、庁内で情報共有・連携を図りたい。また、職員においては健康に留意しながら業務に取り組んでほしい。

(以上)